

令和3年度介護保険特別会計当初予算額

(単位:千円)

歳 入	予 算 額	歳 出	予 算 額
1 保 險 料	157,283	1 総 務 費	16,509
2 使 用 料 及 び 手 数 料	36	2 保 險 給 付 費	563,905
3 国 庫 支 出 金	121,308	3 地 域 支 援 事 業 費	34,556
4 支 払 基 金 交 付 金	156,003	6 基 金 積 立 金	15
5 県 支 出 金	83,618	7 公 債 費	2
6 財 産 収 入	15	8 諸 支 出 金	7,661
7 繰 入 金	95,240	9 繰 出 金	2,520
8 繰 越 金	10,079	10 予 備 費	1,432
9 諸 収 入	3,018		
歳 入 合 計	626,600	歳 出 合 計	626,600

令和3年度介護保険特別会計 予算の概要

令和3年度は第8期介護保険事業計画の初年度で、前回から引き続き“地域づくり”の視点での地域支援事業を推進し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、要介護状態の重度化防止や、介護予防を推進するため、多くの地域関連機関と連携していきます。また、計画書に記載した内容やサービス量が妥当であったか等、給付状況を常に検証していきます。

歳入では、計画値として標準給付費563,954千円をもとに、1号被保険者保険料を156,783千円（前年比約2%増）としました。国庫介護給付費負担金は、104,767千円（前年比約10%減）、地域支援事業交付金は、10,203千円（前年比約21%減）、2号介護納付金は152,267千円（前年比約10%減）、県介護給付費負担金は、78,516千円（前年比約9%減）、県地域支援事業交付金は、5,101千円（前年比約21%減）としました。標準給付費が前年比約10%減額となるため、主だった負担金収入は減額となります。また、財政調整交付金については、負担割合5.0%のところ、約0.68%のみの交付が見込まれるため、3,508千円（前年比約20%増）としました。

歳出では、第8期には団塊の世代が後期高齢者になることや、介護報酬の増額改定もありますが、前計画である第7期計画で見込んでいた給付額までの伸びは無かったため、第8期計画では見直しを行い保険給付費全体で減額予算（前年比約7.8%減）としています。令和2年度から包括支援センターがサンライフさかほぎへ移転したことにより、包括的支援事業、通所型介護予防事業の内容を見直しています。通所型介護予防事業費は1,644千円（前年比約13%増）、主に包括支援センターの運営費である包括的支援事業費は19,690千円（前年比約18%減）、地域支援事業費全体で34,556千円（前年比約15%減）を計上しています。引き続き生活支援コーディネーターをはじめ、町社会福祉協議会と連携をとりながら“地域の包括ケアシステムの構築・充実”を進めるとともに、高齢者自身が役割や生きがいを持って住み慣れた地域で暮らせるまちづくりに向け、強化・推進します。

主な事業

番号	事業名	当初予算	前年度予算	比較増減
1	居宅介護サービス給付事業	263,698千円	291,796千円	28,098千円減
2	介護予防サービス給付事業	7,055千円	4,828千円	2,227千円増
3	施設介護サービス給付事業	160,454千円	159,651千円	803千円増
4	地域密着型サービス事業	78,942千円	101,867千円	22,925千円減
5	包括的支援事業	19,690千円	24,028千円	4,338千円減